



元写真 / SOURCE PHOTO

8-COLOR PALETTE

TREND DIRECTION

粗野で自然な表情を活かした、クラフト感のある素材テーマ。
シェットランド、ドニゴール調スラブ、英国羊毛などを中心に、
節・ネップ・杓・不規則な撚りや色の混ざりを価値にします。
ツイード、ブークレ、ニードル調の凹凸で奥行きを強調。
3G・7Gのローゲージを中心に、素材さと耐久性を両立し、
着込むほど風合いが増す、長く使える素材へ。

Grounded / Rural / Rustic / Authentic
オリーブ〜カーキ・クリムゾン・ボルドー・オーカー／マスタード
・ネイビー・深いブルーグリーン・キャメル・ダークブラウン
という、かなり土・森・自然を感じさせる色。特に重要なのが糸で
写真の説明にも、Shetland、Donegal-style slub、British Bluefaced Leicester、tweed、nep、irregular plying
という方向が出ています。つまり、きれいな均一糸ではなく、「節がある・ネップがある・杓がある・撚りムラがある」
こと自体を価値にしています。これは日本市場でもかなり使いやすい。
例えば、
3G〜7Gのシェットランド調、ネップ、杓、スラブ、ブークレ、ツイード調
はかなり注目していいと思います。



01 LICHEN STONE

ライケストーン

#979586 RGB 151 / 149 / 134



02 CRIMSON BERRY

クリムゾンベリー

#601C28 RGB 96 / 28 / 40



03 HARVEST OCHRE

ハーベストオーカー

#AB8741 RGB 171 / 135 / 65



04 WORN INDIGO

ウォーンインディゴ

#273B62 RGB 39 / 59 / 98



05 DEEP PETROL

ディープペトロール

#19353C RGB 25 / 53 / 60



06 TAWNY CAMEL

トニーキャメル

#988162 RGB 152 / 129 / 98



07 BURNISHED OXBLOOD

バーニッシュドオックスブラッド

#5C2620 RGB 92 / 38 / 32



08 PEAT BROWN

ピートブラウン

#44362E RGB 68 / 54 / 46

VELOURS

OPULENCE AS UNDERTONE

SPINEXPO | A/W 2027-28
PHOTO-SAMPLED COLOR MAP



元写真 / SOURCE PHOTO

8-COLOR PALETTE

TREND DIRECTION

毛足、柔らかな光沢、触れたいくなる質感を重ねる素材テーマ。
シェニール、ペロア、モール、ループ、ハイパイルを軸に、
モヘアやアルパカの毛足、ビスコースやモダールの艶を重ねます。
ウールとの複合で膨らみと重厚感を持たせながら、
ラメや芯糸の光沢は、内側から見える程度に控えめに。
柔らかさと構築性を両立した、深みのある表面を提案。

VELOURS — 「毛足・光沢・触りたくなる素材」
テーマはOpulence as Undertone
つまり「豪華だけれど、キラキラさせない」。直近の2000年代的な派手なラグジュアリーではなく、
古いホテル・ヴィンテージ家具・ベルベット・タペストリーのような重厚感です。
色も非常に特徴的で
Old Rose, Burgundy, Burnt Orange, Petrol, Emerald, Dark Wine, Creamです。
そして糸では、Chenille / Velour / High-pile viscose / Modal blends / Lurex core-spunがポイント。
ここは日本向けニット市場に落とすなら、モール糸、ペロア調、ループ、毛足のあるアルパカ・モヘア、光沢レーヨン混
あたりが使いやすいかと、ただし重要なのは、「全面キラキラ」は違うということです。
光沢はあくまで奥に見える程度。
例えば、ウール×ビスコース、ウール×モヘア、アルパカ×光沢フィラメント、モール×ウールビスコースなど。
異素材を多用して光沢を控えめに抑えるところ。



01 OLD ROSE

オールドローズ

#917875 RGB 145 / 120 / 117



02 BURGUNDY VELVET

バーガンディベルベット

#723B41 RGB 114 / 59 / 65



03 BURNT ORANGE

バーントオレンジ

#925037 RGB 146 / 80 / 55



04 MIDNIGHT PETROL

ミッドナイトペトロール

#1C3137 RGB 28 / 49 / 55



05 PETROL TEAL

ペトロールティール

#1A4D51 RGB 26 / 77 / 81



06 DEEP EMERALD

ディープエメラルド

#2F4B35 RGB 47 / 75 / 53



07 DARK WINE

ダークワイン

#300E14 RGB 48 / 14 / 20



08 ANTIQUE CREAM

アンティーククリーム

#B6AE94 RGB 182 / 174 / 148

CONSTRUCT

ARCHITECTURE OVER ORNAMENT

SPINEXPO | A/W 2027-28
PHOTO-SAMPLED COLOR MAP



元写真 / SOURCE PHOTO

8-COLOR PALETTE

TREND DIRECTION

ハリ、ドライタッチ、高密度感を重視した構築的な素材テーマ。
ハイツイスト梳毛、細番手、極細糸を中心に、
ウール複合、カシミア、トレーサブルウール、ウールシルクを使用。
ミラノリブ、総針、高密度スムーズで布帛のような面を作り、
肩や襟の形を保つハリと、動きやすいドレープを両立。
ジャケットやブルゾンに適した、端正で都会的な素材へ。

CONSTRUCT — 個人的には日本市場で一番売りやすい
Architecture Over Ornamentつまり、装飾ではなく「服の構造」で見せる。という考え方です。
ニットを「柔らかいセーター」としてではなく、布帛のように扱う。
例えば、ニットジャケット、ダブルブレスト、テラードニット、ニットブルゾン、ミラノリブ、総針、高密度スムーズです。
糸も写真の説明では、High-twist worsted, Fine gauge, Wool/polyester bi-component, Ultrafine yarn, Cashmere, Traceable wool, Wool/Silk
など。つまり「シャープなニット」の印象がかなり強くなります。



01 CONCRETE GREY

コンクリートグレー

#7D7F7E RGB 125 / 127 / 126



02 STEEL BLUE

スチールブルー

#5C738F RGB 92 / 115 / 143



03 MINK TAUPE

ミンクトープ

#48433E RGB 72 / 67 / 62



04 TAILORED NAVY

テラードネイビー

#091224 RGB 9 / 18 / 36



05 URBAN KHAKE

アーバンカーキ

#2B2821 RGB 43 / 40 / 33



06 OLIVE STRUCTURE

オリーブストラクチャー

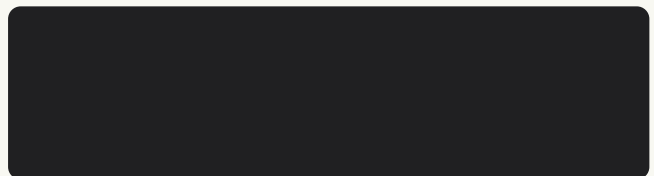
#4A4C29 RGB 74 / 76 / 41



07 ACID MOSS

アシッドモス

#53591C RGB 83 / 89 / 28



08 GRAPHITE

グラファイト

#222224 RGB 34 / 34 / 36